

4 熊本駅周辺地区

(1) 現状と課題

- 熊本駅周辺は、熊本の陸の玄関口でありながら、都市機能の集積は小規模に止まっており、JR鹿児島本線により東西に分断されていることなどから、主要な拠点地区として十分に機能していない現状にある。
- そこで、九州新幹線鹿児島ルート全線開業を見据えて、平成17年6月に「熊本駅周辺地域整備基本計画」が策定され、各種基盤整備事業が進んでいる。
- また、商業面では、JR駅構内や駅前通り周辺に若干の店舗があるもののその規模は小さく、通町・桜町周辺地区と比べてその通行量も少なく、更なる活性化が課題となっている。
- 今後、先導的な高次都市施設の導入や都市空間の魅力向上を図るとともに、九州新幹線を利用した観光客やビジネス客の中心市街地への入口として、他地区との回遊性を図るため、アクセス性をより高めることが必要となっている。

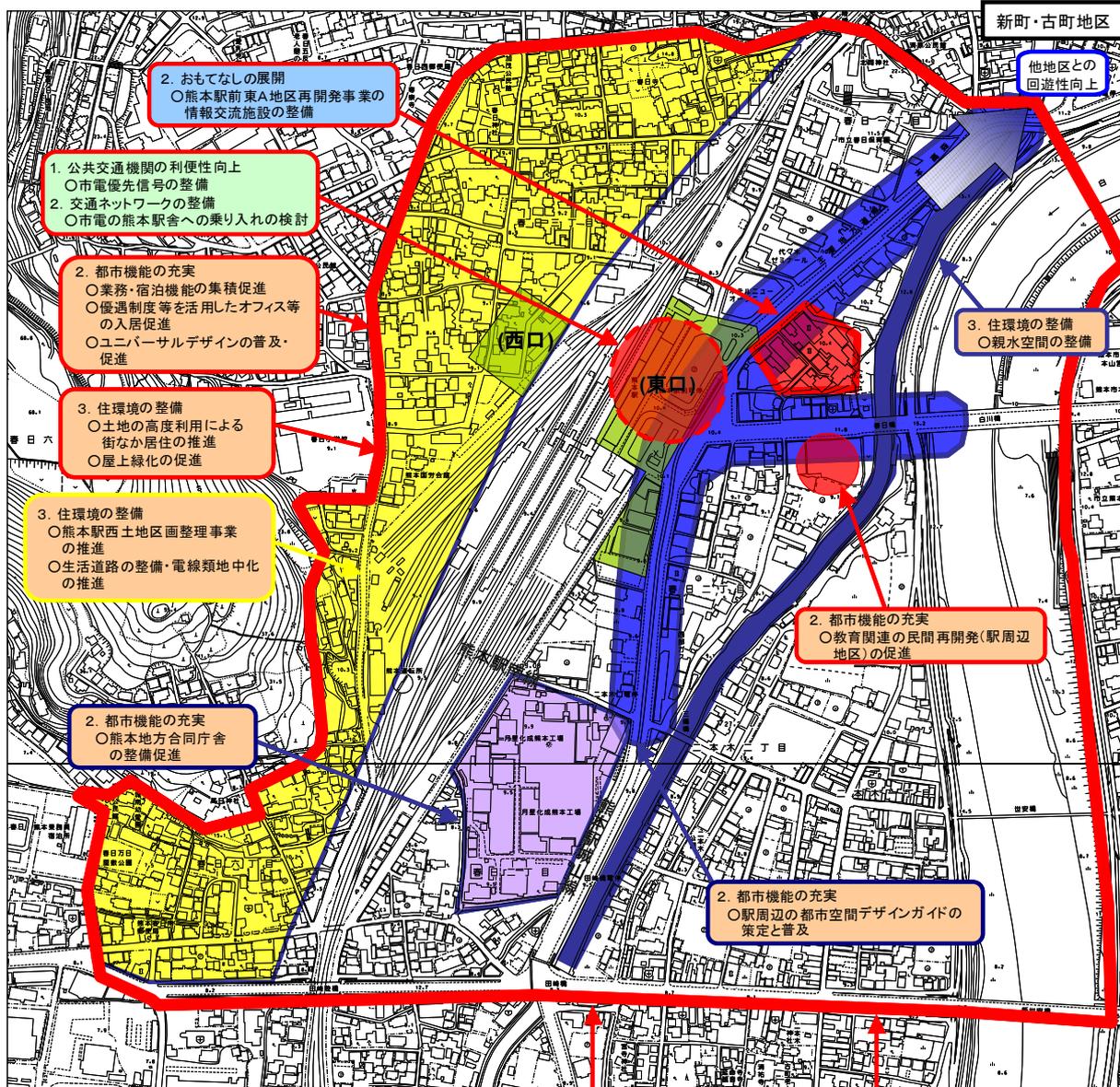
(2) 整備方針

本地区は、九州新幹線鹿児島ルート全線開業や熊本地方合同庁舎移転を契機とし、熊本の陸の玄関口として、また、九州における交流拠点として、熊本市や中心市街地の魅力など「九州・熊本」を内外へ発信する大きな役割を担う地区である。

そこで、多くの人々が訪れ、にぎわいのある空間を形成するとともに、他地区への回遊を促進するための交通アクセスの向上や街路など都市基盤の整備を進めるとともに、情報発信・交流拠点として利便性が高く魅力ある都市空間の創出を図る。

また、交流拠点に相応しい都市機能の集積や、「森の都・水の都くまもと」、さらには歴史性を感じられるアメニティ空間の整備や、土地の高度利用等による新しい都市生活の創造に向けた居住環境の整備を行う。

中心市街地活性化基本計画 整備方針図(熊本駅周辺地区)



- 【 凡例 】
- : (基本方針1)人々が活発に交流しにぎわうまちづくり
 - : (基本方針2)城下町の魅力があふれるまちづくり
 - : (基本方針3)誰もが気軽に訪れることができるまちづくり

2. おもてなしの展開と情報の発信
- 熊本城周遊バスの運行
 - 熊本のおいしい水、食文化のPR推進
 - ホテル等ホームページの多言語化など、国際化への対応促進
 - 熊本駅周辺地域における自律移動支援プロジェクトの実用化に向け、その可能性と課題の検討

1. 公共交通機関の利便性向上
- 超低床電車の導入
 - 運賃体系の見直し、ICカードの導入検討
 - 企画乗車券の販売検討
2. 交通ネットワークの整備
- 広域道路網の整備推進

2. おもてなしの展開
- 熊本駅前東A地区再開発事業の情報交流施設の整備

1. 公共交通機関の利便性向上
- 市電優先信号の整備
 - 交通ネットワークの整備
 - 市電の熊本駅舎への乗り入れの検討

2. 都市機能の充実
- 業務・宿泊機能の集積促進
 - 優遇制度等を活用したオフィス等の入居促進
 - ユニバーサルデザインの普及・促進

3. 住環境の整備
- 土地の高度利用による街なか居住の推進
 - 屋上緑化の促進

3. 住環境の整備
- 熊本駅西土地区画整理事業の推進
 - 生活道路の整備・電線類地中化の推進

2. 都市機能の充実
- 熊本地方合同庁舎の整備促進

(西口)

(東口)

新町・古町地区

他地区との回遊性向上

3. 住環境の整備
- 親水空間の整備

2. 都市機能の充実
- 教育関連の民間再開発(駅周辺地区)の促進

2. 都市機能の充実
- 駅周辺の都市空間デザインガイドの策定と普及